

## A1008

A1008はNIM1幅に8chものスペクトロスコーピアンブを搭載したモジュールです。波形整形はアクティブフィルタ方式を採用し、理想のガウス整形に近づけております。

また、最新の低雑音FETを利用したディスクリート増幅回路を採用しており、入力雑音特性を4 $\mu$ V以下に抑えております。

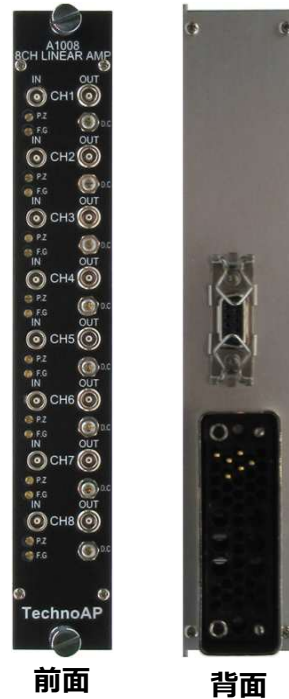
アクティブゲート方式のベースラインレストアラも搭載しているので、高計数率などの測定にもご利用できます。A1008は特にHPGe半導体検出器を用いた測定において、優れた分解能と直線性を実現することが可能です。

### 主な特徴

ゲイン	1~750倍
波形整形	セミガウス整形 ピーキングタイム2.2 $\tau$ , パルス幅6 $\tau$
雑音特性	入力換算4 $\mu$ V以下 2 $\mu$ s時 ゲイン $\geq$ 100
非積分非直線性	< $\pm$ 0.05% 2 $\mu$ s時
ベースラインレストアラ	アクティブゲート方式オートスレッショルド
高計数率特性	ピークの広がり最大15% 2 $\mu$ s, 入力計数率50kcps時

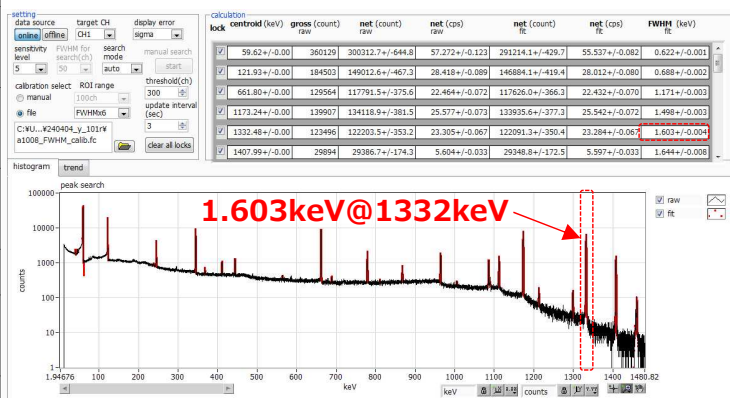
### 仕様

回路数	8チャンネル
入力極性	正/負 内部基板のSWにより設定
アッテネータ	$\times$ 0.1/ $\times$ 1.0 内部基板のジャンパーにより切替
CoarseGain	$\times$ 20/ $\times$ 50/ $\times$ 100/ $\times$ 200/ $\times$ 500 内部基板のSWにより設定
FineGain	$\times$ 0.5~ $\times$ 1.5 パネル取付けポテンシオメータにより設定
PZ ADJ	40 $\mu$ s $\sim$ $\infty$ パネル取付けポテンシオメータにより設定
オフセット電圧	$\pm$ 40mV パネル取付けポテンシオメータにより設定
ShapingTime	0.5/2/6 $\mu$ s 内部基板のSWにより設定
入力特性	8チャンネルLEMOコネクタ レンジ： $\pm$ 1.5 V, 入力インピーダンス：1 k $\Omega$
出力特性	8チャンネルLEMOコネクタ 正極ユニポーラ 0-10V, 駆動電流：45mA
プリアンプ電源	D-Sub9 $\pm$ 12V, $\pm$ 24V (NIM規格準拠) 内蔵
前面	IN：入力LEMOコネクタ OUT：出力LEMOコネクタ F.G：ファインゲイン調整ポテンシオメータ P.Z：ポールゼロ調整ポテンシオメータ D.C：オフセット電圧調整ポテンシオメータ
背面	プリアンプ電源用D-sub9ピンコネクタ
消費電力	+12V (最大200mA), -12V (最大180mA) +24V (最大220mA), -24V (最大200mA) NIMピン電源コネクタより
寸法・重量	NIM1幅 34(W) x 221(H) x 249(D) mm *突起物除く, 約980g

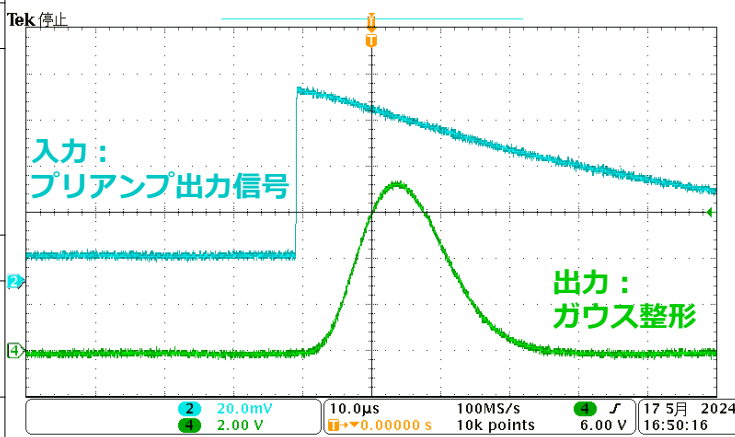


前面

背面



ピークサーチ解析



※写真はイメージです。  
※記載内容は予告なく変更することがあります。

## 株式会社テクノエーピー

〒312-0012茨城県ひたちなか市馬渡2976-15  
TEL：029-350-8011 FAX：029-352-9013

[info@techno-ap.com](mailto:info@techno-ap.com)



<https://www.techno-ap.com>



20240522